

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖生理学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	前期	教室名	第3校舎 801教室
担 当 教 員	星野 貴志	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
解剖生理学では、診療放射線技師として医療にたずさわるために必要な生体の構造と機能、免疫システムについて学ぶ。特に重要と考えられる肉眼的解剖について、名称、形態、相互の位置関係等を習得する。解剖生理学 I では、生命の基礎単位である細胞の構造と機能、人体を構成する組織、器官の構造と機能の全体像を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書「入門人体解剖学」藤田恒夫 著 南江堂 参考図書「ぜんぶわかる人体解剖図」坂井建雄 著 成美堂						
《授業外における学習方法》						
シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。						
《履修に当たっての留意点》						
解剖生理学は医療従事者にとって必須の科目であり、臨床医学を学ぶ上での土台となります。また国家試験でも、幅広い知識が問われます。授業のみでは理解は深まりませんので、積極的に予習・復習を行う習慣を身につけましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体の解剖学名を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	解剖学概論、解剖学用語 医学の中における解剖学の足跡と解剖学名を理解する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	人体の基本単位である細胞のはたらきについて説明できる。 身体を構築する各器官系について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	細胞・組織・器官・器官系 人体の基本単位、人体を構築している仕組みを理解する。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体の方角用語と各解剖学名称を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	身体の区分と名称			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の肉眼的構造を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	骨格系① 骨の構造			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節の構造と運動を関連して説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	骨格系② 関節の形態としくみ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭蓋骨の基本的配列を説明できる。 頭蓋骨相互の関節(縫合)を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	骨格系③ 頭蓋骨		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊柱の基本構造を説明できる。 各椎骨の特徴を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	骨格系④ 脊柱		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	肋骨の連結と胸郭の構造を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	骨格系⑤ 胸郭(肋骨・胸骨)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢帯を構成している骨を列挙できる。 肩甲骨、鎖骨の形態と他の骨との関節を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	骨格系⑥ 上肢の骨格 I		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	手根骨を構成している骨を列挙できる。橈骨と尺骨の形態と、違いを説明できる。中手骨と指骨の違いを説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	骨格系⑦ 上肢の骨格 II		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢帯の基本構造を説明できる。 骨盤の構造、股関節の特徴を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	骨格系⑧ 下肢の骨格 I		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨、下腿骨、足骨の特徴を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	骨格系⑨ 下肢の骨格 II		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	全身の筋肉について列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	筋系① 全身の筋肉		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋の起始・停止と機能について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	筋系② 筋肉の構造		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋の種類と補助装置を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	筋系③ 筋の補助装置と筋の種類		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖生理学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	前期	教室名	第3校舎 801教室
担 当 教 員	星野 貴志	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
解剖生理学では、診療放射線技師として医療にたずさわるために必要な生体の構造と機能、免疫システムについて学ぶ。特に重要と考えられる肉眼的解剖について、名称、形態、相互の位置関係等を習得する。解剖生理学 I では、生命の基礎単位である細胞の構造と機能、人体を構成する組織、器官の構造と機能の全体像を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書「入門人体解剖学」藤田恒夫 著 南江堂 参考図書「ぜんぶわかる人体解剖図」坂井建雄 著 成美堂						
《授業外における学習方法》						
シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。						
《履修に当たっての留意点》						
解剖生理学は医療従事者にとって必須の科目であり、臨床医学を学ぶ上での土台となります。また国家試験でも、幅広い知識が問われます。授業のみでは理解は深まりませんので、積極的に予習・復習を行う習慣を身につけましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	動・静脈の概念を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	脈管系① 循環器系の概要			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管の構造を説明できる。 動脈、静脈の形態区分、機能の違いを説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	脈管系② 血管の構造			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	全身の動脈、静脈の走行と分布域を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	脈管系③ 全身の血管(動脈・静脈)			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の形態的特徴から、各部位の機能を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	脈管系④ 心臓の構造			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	肺循環と体循環の違いを説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	脈管系⑤ 肺循環と体循環			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の成分と機能について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	血液の成分とはたらき		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	体液とその区分、体液の調整法について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	体液とは 体液の調整		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	生体防御機構について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	生体の防御機構		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫の基本を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	非特異的防御機構と特異的防御機構(免疫系)		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	リンパ管の概念、機能を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	全身のリンパ系、リンパ組織のしくみ		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	鼻腔、咽頭、喉頭の構造を説明できる。 気管、気管支、肺の構造を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	呼吸器系① 呼吸器系の概要		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸の様式について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	呼吸器系② 呼吸のしくみ		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化管の基本構造を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	消化器系① 消化器の概要		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化管各部位の構造と機能について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	消化器系② 消化と吸収のしくみ		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	蠕動運動、分節、振り子運動について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	消化器系③ 消化管の運動		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖生理学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	前期	教室名	第3校舎 801教室
担 当 教 員	星野 貴志	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
解剖生理学では、診療放射線技師として医療にたずさわるために必要な生体の構造と機能、免疫システムについて学ぶ。特に重要と考えられる肉眼的解剖について、名称、形態、相互の位置関係等を習得する。解剖生理学 I では、生命の基礎単位である細胞の構造と機能、人体を構成する組織、器官の構造と機能の全体像を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書「入門人体解剖学」藤田恒夫 著 南江堂 参考図書「ぜんぶわかる人体解剖図」坂井建雄 著 成美堂						
《授業外における学習方法》						
シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。						
《履修に当たっての留意点》						
解剖生理学は医療従事者にとって必須の科目であり、臨床医学を学ぶ上での土台となります。また国家試験でも、幅広い知識が問われます。授業のみでは理解は深まりませんので、積極的に予習・復習を行う習慣を身につけましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第31回	講義形式	授業を通じての到達目標	同化作用と異化作用、酵素、エネルギー代謝について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	代謝、体温調節① 物質代謝とエネルギー代謝			
第32回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養素について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	代謝、体温調節② 栄養とエネルギー			
第33回	講義形式	授業を通じての到達目標	体温のなりたち、体温調節について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	代謝、体温調節③ 体温調節			
第34回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿の生成、体液調節、排尿機能について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	泌尿生殖器系① 泌尿器の概要			
第35回	講義形式	授業を通じての到達目標	生殖器の構造について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	泌尿生殖器系② 生殖器の概要			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	講義形式	授業を通じての到達目標	ホルモンの種類を列挙できる。 内分泌器官の構造とホルモンの機能について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	内分泌系の概要		
第37回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経の区分について説明できる。 末梢神経の基本を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	神経系① 中枢神経系と末梢神経系		
第38回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経細胞のしくみ、神経管の発生について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	神経系② 神経のしくみ		
第39回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経伝達のしくみを説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	神経系③ 神経伝達のしくみ		
第40回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳神経核の位置について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	神経系④ 脳神経のしくみ		
第41回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄神経の構成と特徴について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	神経系⑤ 脊髄神経のしくみ		
第42回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動神経と知覚神経のしくみを説明できる。 交感神経系と副交感神経系の分布を理解する。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	神経系⑥ 運動神経と知覚神経、自律神経系		
第43回	講義形式	授業を通じての到達目標	表皮、真皮、皮下組織の構造を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	感覚器系① 皮膚の構造		
第44回	講義形式	授業を通じての到達目標	毛、爪の構造と機能を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	感覚器系② 皮膚の機能、皮膚付属器		
第45回	講義形式	授業を通じての到達目標	人体を構成する組織、器官の構造と機能の全体像を理解する。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	総括		